

今年も早くも残りわずかです。師走となりました。自己紹介が遅くなりましたが、今年度より新たに本雑誌の編集員を務めていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

大学病院や大病院の臨床検査は厳しい時代になり、ISO15189 など臨床検査の国際規格の認証を得ることで検査結果に付加価値をつける努力が多くの施設で行われています。本号の「オピニオン」では検査技師の第二期黄金時代の到来と言える明るい話を載せています。これからの検査技師は、従来型の検査室に閉じこもって検査をしているだけではなく、広く臨床現場に出て患者に接することに活躍の場があり、臨床検査の現場も変貌していくのではないのでしょうか。

“病気のはなし”の「ネフローゼ症候群」では、臨床検査技師に興味がある検査所見と診断さらに治療に関してわかりやすく解説されています。“臨床医からの質問に答える”では、血小板機能検査が血栓性疾患の診断・病態の評価や抗血小板剤の効果判定に重要性があるにもかかわらず、血小板機能の粘着・放出・凝集の検査データのばらつきが大きく、これらの要因を血小板機能検査依頼時の注意点として、詳しく解説していますので、参考にされるとよいでしょう。“失敗から学び磨く検査技術”では、溶血がインスリン測定で負の誤差を与えることは知られておらず、測定項目の問題を検証して臨床に還元することは非常に重要であり、同様に“Laboratory Practice”では ABO 血液型検査の判定に問題となる事例とその留意点を解説しています。また、「院内感染対策からみた採血」では、採血手技の注意点や採血時の安全性の確保について簡単にまとめていますので、ぜひ心がけて実践していくべきであります。

“Topics”としては、抗血小板抗体検査に用いられている MPHA の検査法の検査時間を大幅に短縮した M-MPHA について、他の検査への応用も含めて解説しています。この検査法は磁性粒子を用いて従来法を改良したもので、今後広い分野での発展を期待したいです。

この冬は、暖冬か寒さ厳しい冬かはわかりませんが、インフルエンザや風邪などに罹らず、この雑誌から少しでも多くの臨床検査の知識を学び、新しい知識を生み出せるように私も努力いたしますので、皆様も頑張ってください。

(曾根伸治)

病気のはなし

膠芽腫(Glioblastoma)——最近の治療 ——田中 実
WPW 症候群 ——山田優子, 他

技術講座

気管支肺胞洗浄液の一般検査 ——保科ひづる
フローサイトメトリーによる

活性化血小板の検出 ——清水美衣

オピニオン

臨床検査の「これから」の視点

検査室は病院の情報発信基地 ——森嶋祥之

疾患と検査値の推移

糖尿病ケトアシドーシス ——岩田充永

ワンポイントアドバイス

血液ガス検査の誤差要因 ——東 由佳

Laboratory Practice

採血の現状と問題点・6

これからの採血室の構築 ——盛田和治

ヒト由来抗血清からモノクローナル抗体に・3

モノクローナル抗体: Rh, その他の血液型

——佐々木正照

脳波検査のステップアップ・1

脳波検査の意義 ——岡 靖哲

臨床医からの質問に答える

ヘモグロビン異常症患者の HbA_{1c} 検査

HPLC 法と免疫法での挙動 ——宮下徹夫

私の一推し免疫染色/一般検査室から 私の一枚/
ラボ・クイズ/トピックス/他

ラボ・クイズ正解者

第 35 巻 9 号(2007 年 9 月号)

花田妙子(函館市)/古田雅弘(札幌市)/対馬瑠美(青森市)/近藤綾(北上市)/江川由里子(喜多方市)/染谷美代子(吉川市)/田丸盛夫(川口市)/山田幸栄(朝霞市)/森川一裕(東金市)/雨宮三枝子(東京都)/大橋菜穂子(東京都)/重泉英子(横浜市)/庄司恵理子(新潟市)/赤羽貴行(安曇野市)/一柳富久美(岐阜市)/近藤直美(岐阜市)/塩澤愛実(岐阜市)/榎間利政(岐阜市)/古田治(岐阜県白川町)/藤原千絵(京都市)/林久美子(鳥取市)/宝山寿美枝(広島県府中市)/久保田由紀子(筑紫野市)/中智美(豊前市)/中政人(福岡県吉富町)

●編集委員

菅野 治重

(編集主幹)

伊瀬 恵子

桑 克彦

曾根 伸治

高木 康

手島 伸一

永江 学

矢富 裕

(五十音順)

検査と技術

2007 年 11 月 1 日発行(毎月 1 回 1 日発行)

1 部定価 1,208 円(本体 1,150 円 + 税 5%)

年々ぎめ予約購読料 18,850 円(送料弊社負担・増刊号を含む 13 冊)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

☎113-8719

東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通(03)3817-5713

ファクシミリ (03)3815-7802/(03)3815-7982

E-mail kensa@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kensa/

販売部直通

(03)3817-5659

振替口座

00170-9-96693

印刷

(株)アイワード (011)241-9341

広告申込

(株)東 広 社 (03)3409-8803

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2007, Printed in Japan.

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

JICLS (株)日本著作出版権管理システム委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。

(担当 山本・小藤・渡邊・小松原)